

令和5年 死亡災害等事例（令和6年3月31日現在）

1 死亡災害

No.	発生月 発生 時間帯	業 種	事故の型 起 因 物	災害発生状況	被災 者数
1	4月 6-7	運輸交通業	交通事故 (道路) トラック	貨物自動車(最大積載重量3.5t)を運転し、高速車道を走行中、トンネル入口手前で路肩からはみ出し、擁壁に接触した後、トンネル翼壁に激突し、運転していた被災者が死亡したものの。	1名
2	7月 9-10	運輸交通業	墜落・転落 屋根、はり、も や、けた、合掌	作業員の休憩施設として利用していた平屋プレハブ小屋の下家解体のため、被災者が勾配約15度の屋根上でトタン板を固定していたビスを外す作業を行っていたところ、2m14cm下の地面に墜落し死亡したものの。	1名
3	8月 16-17	建設業	高温・低温の 物との接触 高温・低温環境	発電所の保守業務として導水路の草刈り作業中、被災者と外の作業員が作業場所から一旦車両に戻った後、被災者単独で道具を取りに作業場に戻ることにしたが、その後道に倒れていた被災者が発見され、意識が朦朧とした状態なので緊急搬送されたが死亡が確認されたもの。	1名
4	10月 8-9	建設業	おぼれ 水	河川整備護岸工事現場において、河川にコルゲート管を敷いて仮設の通路を設置し、当日は右岸側のコンクリート打設作業を行なおうとしていたが、重機の周辺で作業中の被災者の行方が不明になり、捜索したところ、約3時間後、工事用道路の仮設水管であるコルゲート管に吸い込まれた状態で発見され死亡が確認されたもの。	1名
5	11月 8-9	建設業	崩壊・倒壊 金属材料	ホイスト式橋形クレーンの横行レール補強作業中、架台の上の治具に載せていたI形鋼が治具ごと崩壊して、近くで作業中の被災者がI形鋼の下敷きになるとともに、付近にあった鉄骨材に頭部が激突して負傷し、その後死亡が確認されたもの。	1名

※ 上記以外に「異常な出来事による脳・心臓疾患」に認定されたものが1件

2 一時に3人以上被災した災害

No.	発生月 発生 時間帯	業 種	事故の型 起 因 物	災害発生状況	被災 者数
1	2月 8-9	製造業	有害物等との接触 その他の有害物	機械部品の洗浄処理を行う工程において、電気分解槽内の処理液交換作業中、処理液(過マンガン酸カリウムと水酸化ナトリウムの混合液)を専用のタンクに移したところ、タンクに残留していた塩酸と過マンガン酸カリウムが反応して塩素ガスが発生し、吸引した作業員4名が被災したもの。	4名
2	3月 10-14	製造業	有害物等との接触 その他の有害物	工場内の製品出荷場において、本社事業場から送られてきた運搬箱に入っていた、「弗化水素酸」が漏れた状態の段ボール箱に素手で触れた作業員3名が皮膚炎等を発症したもの。	3名
3	8月 5-6	その他の 事業	有害物等との接触 その他の有害物	ごみ処理施設機械設備のボイラーへ供給する純水精製装置に異常が発生し、現場にかけつけた作業員3名が目と喉に刺激を感じて被災したもの。純水精製装置のろ材再生(清掃)を苛性ソーダ及び塩酸を使用するが、塩酸が通る配管のバルブに穴が開いていることが判明した。	3名

3 工業中毒等

No.	発生月 発生 時間帯	業 種	事故の型 起 因 物	災害発生状況	被災 者数
1	2月 8-9	製造業	有害物等との接触 その他の有害物	機械部品の洗浄処理を行う工程において、電気分解槽内の処理液交換作業中、処理液(過マンガン酸カリウムと水酸化ナトリウムの混合液)を専用のタンクに移したところ、タンクに残留していた塩酸と過マンガン酸カリウムが反応して塩素ガスが発生し、吸引した作業員4名が被災したもの。	4名
2	8月 5-6	その他の 事業	有害物等との接触 その他の有害物	ごみ処理施設機械設備のボイラーへ供給する純水精製装置に異常が発生し、現場にかけつけた作業員3名が目と喉に刺激を感じて被災した。純水精製装置のろ材再生(清掃)を苛性ソーダ及び塩酸を使用するが、塩酸が通る配管のバルブに穴が開いていることが判明した。	3名
3	9月 11-12	製造業	有害物等との接触 その他の有害物	薬品製造工程の脱臭槽の詰まりを解消する作業中の被災者が、水分補給をしようと防毒マスクを外したところ、意識を消失して転倒し頭部を受傷、その後硫化水素中毒と診断された。災害発生時、脱臭槽に接続する配管に亀裂が生じており、その付近から硫化水素ガスが漏れ出してばく露したものと推定される。	1名